



難病医療相談会開催

松阪保健所による神経難病患者様・ご家族様を対象にした「難病医療相談会」が9月10日（水）13：30～15：30 三重県松阪庁舎6階大会議室にて開催されました。CTF松阪からもIT支援として6名が参加し「意志伝達装置」の説明・デモを行い、多くの患者さんやご家族の相談に対応しました。

また講演会として

三重厚生連松阪中央総合病院 医師 大達 清美 先生による「神経難病とリハビリテーションの関わり」、

松阪地区医師会訪問看護ステーション 理学療法士 大西 恵美子 先生で「口から食べる楽しみ最期まで～在宅でできるのみこみ（嚥下）訓練～」

の講演会がありました。



図1 CTF松阪ブース



図2 医師による講演



四五百森

昨年12月号にも蒲生氏郷をNHK大河ドラマにと言った記事を書いた。日野町、松阪市、会津若松市の顕彰会では今に至ってもその意気や盛んである。氏郷の知名度が今一つよく知られて居ないので、直木賞作家の中村彰彦さんに、蒲生氏郷を題材にした小説の執筆を依頼している。

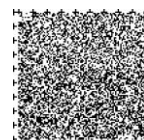
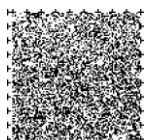
「蒲生氏郷があと10年生きていれば日本の歴史は大きく変わっていた」とはよく聞く話だ。関ヶ原の戦いが1600年10月に勃発している。氏郷の死が1595年3月だから死後5年目で関ヶ原の戦だ。その時氏郷は男盛りの45歳だ。ここであと10年生きていれば・・・が生きてくる。

氏郷の動きによって関ヶ原の勝敗は変わったのか？ その如何によって氏郷は歴史の表舞台に立てたのか？ このように考えると日本史も案外面白い。



参宮道

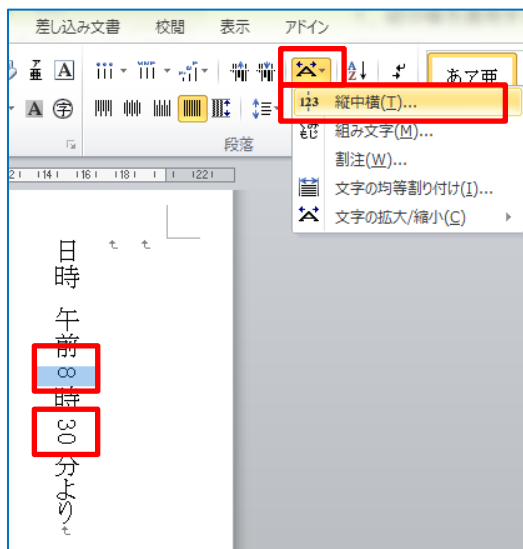
今月号は文字数が多いので、第1ページと第4ページにSPコードを2個付けてあります。第1ページと第4ページでは、先に左下のSPコードを、次に右下のSPコードを読んでください。



Word 縦書き文書で一部のテキストを横書きに変更する



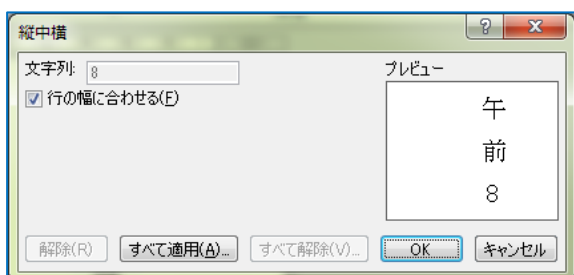
Wordで縦書き文書を作成する場合、数字ってどうしていますか。漢数字なら問題ないですが、数字は横になったり、また全角にすると1ケタの数字なら縦書きでも大丈夫ですが2桁になるとみずらくなってしまいます。



(図 1)

1. 修正する文字（数字など）を選択する。(図 1)

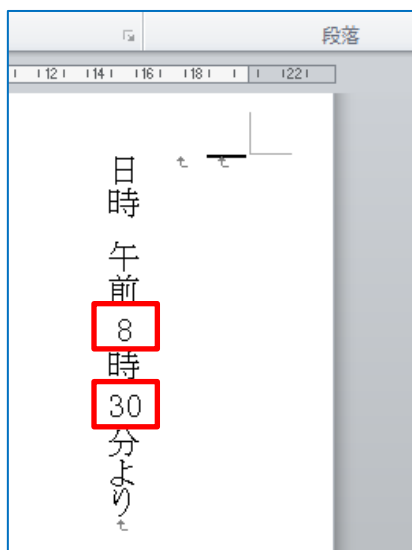
2. [ホーム]タブの [段落] で 拡張書式 (拡張書式) を選択し、[縦中横] をクリックする。(図 1)



(図 2)

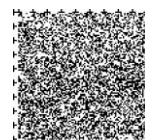
3. 数字などを行幅に合わせるには、[行の幅に合わせる] チェックボックスをオンにする。(図 2)

選択された文字列の文字をすべて変更するには、[すべて変更] をクリックし、選択している文字列のみを縦中横にするか、同じセクションまたは文書全体の同じ文字列をすべて縦中横にするかを設定する。



(図 3)

4. 90度回転して水平になった文字列の書式を解除するには、その文字列を選択し、[縦中横] ダイアログボックスの [解除] をクリックする。



活動報告

【9月】

障がい者対象個人向けパソコン講座

(2日、9日、16日)

ITサポート訪問

(3日、6日、11日、17日、25日)

「作って楽しむパソコン講座」

(29日)

活動予定

【10月】

障がい者対象個人向けパソコン講座

7日、14日、21日、28日

松阪市障がい者福祉センター 9:30~11:30

「作って楽しむパソコン講座」

6日、20日、27日



松阪の文化施設訪問

嬉野町歴史資料館

—— 先月は旧長谷川邸でしたが、今月はどちらの文化施設を訪問ですか？ ——

【C】今月はね嬉野町歴史資料館ですわ。

—— その資料館ってどこにあるの？ ——

【T】嬉野のふるさと会館に併設されてましてよ

【F】ちょうどね「天白遺跡」の企画展が開催されてましたの。

【C】日本最大級の鴟尾(しび)や人面が書かれている墨書土器等多数展示されてますの。オホホホ

—— へ～最近やけに高尚ですがその後はどちらに？ ——

【T】アハハハ、すぐ近くの「秋よし」でランチを頂きましたのよ。

【F】ボリューム満点でリーズナブルでしたわ。ちなみ和食 930 円、洋食 830 円ですわよ。ウフフフ

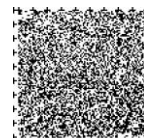


嬉野町歴史資料館

入館料 無料

営業時間 午前9時～午後5時

休館日 毎週月曜日・第2火曜日・年末年始休(12月29日～1月3日)



今月は、『難病患者在宅ケア』事業で、難病患者さん宅への訪問サポートをマネジメントされている、理事のY2014様からご投稿をいただきました。

熊野の大花火大会

「熊野の花火はすごい」、松阪駅からバスで行ったが帰ってきたのは朝の5時だった”等と以前から聞いていましたが、ひよんなことから今年の8月に生まれて初めて見に行きました。実は、熊野出身の方が案内して下さり、また熊野に住んだことのある方が交通規制やJR臨時列車の情報などを事前に集めて頂き、熱心に勧めて頂いたこともあって、友人を含めて4人で行くこととなった次第です。

一週間ほど前に大きな台風が日本列島を通過してしまいましたので、雨を心配していましたが、当日は晴天で花火日和となりました。



「浜席」という、波打ち際のブルーシートに仰向けになって見上げる状態で自分の上に花火が降り落ちてくるよう。重さ約250kgという「三尺玉」は余りの重さに打ち上げることができず、4m四方の鉄製浮輪に載せて爆発させて直径600mの花火が開く（下半分は海中です）、点火した花火師の船は全速力で逃げるとのこと。その爆発音たるや、すごい迫力でした。最後の「鬼ヶ城が燃える」では、真上、斜め上、横方向へ多数の花火を打ち上げることによって、狭い範囲ではなく、広角のパノラマを見るような素晴らしい眺めでした。また、打上げ音が鬼ヶ城並びに堤防など観客の後ろにも反射してエコーとなり、迫力が数倍増しました。

自分ではとても行く気になれなかったと思いますが、熱心に勧めて頂いた先達に感謝！真土のみやげができました！

Y2014

編集後記



朝晩は肌寒くなってきました。この頃から秋が深まってきます。赤や黄色に山の木が色付きます、又食べ物も果物・お魚と秋の美味しい物がお店に並び食欲の秋です。夜になれば虫の音が、涼しげに聞こえてきます。今年は少し秋が早く感じます。

季節の変わり目、皆さん体調を崩さないくださいね。



CTF 通信第 139 号

2014年（平成26年）10月発行
発行者 IT を活用した障がい者支援 NPO 法人
CTF 松阪
発行責任者 川 口 保 美
住 所 〒515-0081
松阪市本町 2181-1
電 話 0598-21-7268
U R L <http://ctf.dip.jp/>

